

《開催事後レポート》

旅への不安を抱える“オストメイト”も「温泉を楽しみたい！」をあきらめない！ オストメイトのための日帰り温泉ツアーを実施 ～4/1「障害者差別解消法」の改正施行に合わせ、16 人が参加～

KNT-CT ホールディングスのグループ会社である近畿日本ツーリスト株式会社（本社：東京都新宿区 社長：瓜生 修一）は、医療機器、医療用消耗材料の開発、製造、販売及び輸出入を行うアルケア株式会社（本社：東京都墨田区、社長：伊藤 克己、以下アルケア）と協働し、旅行に対して不安を感じているオストメイト及びそのご家族を対象にした日帰り温泉ツアーを 2024 年 4 月 1 日(月)に実施しました。オストメイトの男女 12 人（40～90 代）を含む計 16 人が参加。温泉につかりながら思い思いの時間を過ごし、参加者同士で交流を深めました。



■入浴シールで気兼ねなく！ゆったり温泉と食事を楽しむ不安に寄り添ったプラン

朝 8 時 30 分に東京・JR 錦糸町駅前から出発。行きのバスでは、参加者がそれぞれ自己紹介し「大きな手術をしてから温泉に行くのは初めて」「去年の 2 月に手術をして、旅行を人生の目標にしようと頑張っている」「長時間の旅行はまだ緊張する」と、旅への思いや手術歴などを語り、打ち解け合っていました。

午前 10 時前に、龍宮城スパ・ホテル三日月（千葉県木更津市）に到着し、参加者はアルケアが開発した入浴用シール「バスラック®シール」を使用して、早速温泉を楽しみました。バスラック®シールは、「装具が目立ち、人目が気になる」「装具が濡れてしまう」という課題から生まれた製品で、ストーマ装具の凹凸が目立ちにくい「まだら模様」を採用したシールです。アルケア社員の説明を聞きながら、防水仕様などの製品の特長について理解を深めていました。

参加者は広々とした大浴場で、足を伸ばしながらお湯につかり、思いっきり温泉を堪能しました。「とても広いお風呂で気持ち良い」と、露天風呂から東京湾の景色を眺めたり、参加者同士で語り合ったりとリラックスした様子でした。その後も、昼食をとって館内を自由に買い物するなど、思い思いの時間を過ごしていました。



■ ストーマ装具のパイオニアである、アルケアの工場を見学 災害時の備えも学ぶ

午後からは、国産唯一のストーマ装具のパイオニアメーカー・アルケアの千葉工場を訪れ、社員による講義や工場見学に参加。同社オストミーケアマーケティング部 CX 企画グループの神藤 貴徳氏が、「オストメイトのための災害対策」について講義しました。災害時の備えとして、10～14 日分の備蓄を用意することや、非常時だからこそストーマ装具をいつも通りの交換間隔にするなどの気をつけるポイントをアドバイスしました。神藤氏は「自助の意識が大切。日頃のケアを非常時でもできるように準備すること、内部障害は外見では分かりづらいこともあり、避難所の責任者に自身がオストメイトであることを伝える勇気を持つことも重要」と解説しました。

参加者はストーマの特性や使用している装具のメーカー名、連絡先などを記入できるアルケアオリジナルの「ヘルプカード」にも目を通し、災害への備えについて理解を深めていました。



工場では製造の過程や品質検査の様子を見学。お腹に貼る面板やパウチ（ストーマ袋）が出来上がる様子を間近で見た参加者は「普段つけているのに知らないことを多く学べた」と、説明を興味深く聞いていました。工程を学んだ参加者は、実際にストーマ装具の製造体験にも挑戦し、完成したストーマ装具にはイラストも施しました。品質検査では、パウチの耐水圧試験を実演し漏れが無い確認するなど、個人ではなかなか訪問しにくい工場見学を通じ、ストーマ装具をより深く知っていただく機会となりました。

■ 「心が温まった」「勇気をもらえた」参加者の声

本ツアーは、旅の仲間として過ごしたことによるオストメイト当事者同士の情報交換やコミュニティづくりも後押しする狙いがあります。参加した 40 代の女性は「普段は貸し切りのお風呂を利用することが多く、今回は大浴場に入ることができて体だけでなく心も温まった。入浴用シールはいろいろ探してなかなか良いのが見つからなかったが、バスラック®シールを使ってとても快適だった」。70 代の男性は「膀胱がんになって 7 年。久しぶりに湯船につかって汗を流すことができた。ツアーに参加して、同じようにストーマ装具を使っている仲間がこれだけいると知り勇気をもらえた」と充実した様子で話していました。

■ 「旅を楽しみたい」をあきらめない！ユニバーサルツーリズムの推進で連携

今回は長年ユニバーサルツーリズムを推進してきた近畿日本ツーリストと、国産初かつ唯一のストーマ装具メーカーであるアルケアが協働し、安心して旅を楽しめるきっかけや、オストメイト同士の交流の場につなげていただきたと考え、本ツアーを企画いたしました。アルケアの神藤 貴徳氏は「この度の法改正もきっかけに、オストメイトの方が問題なく入浴を楽しめると社会的認知を向上させ、正しい理解を広めていきたい。みなさんと一緒に今後、温泉以外のイベントも企画していきたい」。近畿日本ツーリスト事業推進本部・営業企画ユニバーサルツーリズム推進担当の伴流 高志は「バリアフリーが進んでいる社会でも、内部障害のある方に対する認知度が他の障害に比べて低い現状があると考えている。障害がある方でも、誰もが安心して旅を楽しめる社会をつくれるように頑張っていきたい」と話しました。

・「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」4 月 1 日に改正施行

同法律は、行政機関や事業者に対して、障害のある人への不当な差別的取扱いを禁止し、障害のある人から申出があった場合に、負担が重すぎない範囲で合理的な配慮の提供を義務付けるものです。

例えば温泉旅館・ホテルでは、オストメイトに対して、温泉などの公衆浴場における入浴の拒否などを行わないように不当な差別的取り扱いの禁止と、合理的配慮の提供が義務付けられます。

・オストメイトについて

直腸がん・大腸がんや、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）や事故などにより、お腹に排泄のための「ストーマ（人工肛門・人工膀胱）」を造設した方を『オストメイト』と言います。ほとんどは後天的な要因が多く、その数は年々増加しているとも言われています。

ストーマ装具を適切に装着していれば、便・尿などの排泄物が漏れたりすることはなく、入浴についてもストーマ装具を必ず着用するなどのルールやマナーを守れば、衛生上の問題はありません。

実施概要

・実施施策名：「オストメイトのための日帰り温泉ツアー」

・実施日時：2024年4月1日(月) 8:30～18:00

・会場：①龍宮城スパ・ホテル三日月（千葉県木更津市北浜町1番地）

②アルケア株式会社 千葉工場（千葉県千葉市花見川区千種町36-2）

■ツアー行程

8:30 JR 錦糸町駅発

9:30～13:00 龍宮城スパ・ホテル三日月着／温泉入浴、昼食、お土産購入

14:00～17:00 アルケア千葉工場着／講義「オストメイトの災害対策について」／工場見学／ストーマ装具製作体験

18:00 JR 錦糸町駅着・解散

アルケア株式会社について

1953年に国産初の石膏ギプス包帯「スピードギプス」の開発・製造に成功し、1955年に創業。予防から社会復帰にいたるまで、ケアをプロセス視点で捉え、整形外科領域、褥瘡・創傷領域、ストーマ領域、看護領域の4つの専門領域で事業を展開しています。ストーマケア領域では、1965年に国立がんセンターの看護婦長（当時）からの要請により国産初のストーマ装具「ラパック」を開発以来、オストメイトがストーマケアで必要とするストーマ装具だけでなく、ストーマ造設前と変わらない日常生活を送っていただくためのケア用品や生活支援用品（肌着や入浴用品など）のラインアップの拡充やストーマのある生活に役立つ情報・サービスの提供の強化を図っております。オストメイトと共に歩むことを通じて「今日よりも、明日をよくしたいと思っているケアをする人とケアを受ける人」を支えられる、製品・情報・サービスを研ぎ澄まし、ストーマに関わる全ての人が自分らしくいられる社会の実現を目指しています。

事業内容：医療機器、医療用消耗材料の開発、製造、販売及び輸出入

URL：<https://www.alcare.co.jp/>

＜上記に関するお問合せ先＞

KNT-CTホールディングス株式会社 総務 CSR 部 TEL：03-5325-8547

〔近畿日本ツーリスト(株)は、KNT-CTホールディングスのグループ会社です〕